



千葉労働動員

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄館) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

91.6.25 No. 3416

派兵反対か防衛庁デモ 都心に戦争NO!の響きわたる!



防衛庁に向けた怒りのデモで、
1800人の最先頭に立つ運営委員

(左より、水野、佐藤、中野、長谷川、中田の名氏)

全国から一八〇〇結集

7月PKO法案の 国会上げ程を許すな

六月二三日正午から、東京・明治公園において、「自衛隊の海外派兵反対、PKO法案の国会上げを許すな」全国総決起集会在、全国から一八〇〇名の仲間を結集し開催された。

集会終了後には、防衛庁に対する怒りのデモを闘い抜いた。この日の集会とデモを主催した反戦共同行動委員会は、中野洋・佐藤芳夫・小西誠(反戦自衛官)三氏の呼びかけによって、労働者

をはじめとして、広範な人々の結集をもって、大衆的な反戦闘争を闘う共同組織として五月一八日に結成された。

かつては広範な反戦闘争を組織した総評センターが、自衛隊派兵強行―改憲という恐るべき情勢にもかかわらず、「自衛隊容認」をうちだすという状況のなかで、このままではいけない、という危機感・怒りを結集し反戦共同行動委員会の闘いはいよいよ開始された。

労働者階級の責務にかける (中野委員長基調報告要旨)



七〇九月PKO、小選挙区制阻止の国会闘争への決起を、歴史的転換点にたつ階級的責務をかけて訴える。

日本は、多国籍軍の中東侵略に端を発した一三〇億円の軍費拠出、参戦国家の道を歩み、さらに掃海艇のペルシヤ湾派遣が強行された。

七月の臨時国会では、PKO協力法案・小選挙区制・自衛隊法改悪が強行されようとしている。われわれは改憲という大変な事態に直面している。財界・マスコミ・連合労組・野党は総屈服し、これを推進する方向へと動きだした。われわれは反戦のデモ・運動が皆無に近いという現実を慄然たる思いで状況を突破しなければならぬ。PKO関連法案はカンボジア派兵へと直結している。

一月一七日からのアメリカを中心とした中東侵略戦争の貫徹力が状況を一変させた。国連中心主義・国際協力の名の下、暗黒の政治が世界を覆っている。

社会党改革案は立憲の精神をすて、安保・自衛隊を容認していくことを明らかにした。総評センターも容認を決定した。国鉄分割・

民営化と連合の結成をひとつの焦点とした「戦後政治の総決算」攻撃は、そのしあげとして既成野党の翼賛化という異様な状況をつくりあげようとしている。

自民党独裁政治の貫徹は、徴兵制へと結びつくものである。

二一世紀の未来へ向けて断固とした闘いを組織しなければならぬ。労働者が反戦を闘える労働運動を構築しよう!

六月二三日という日は、日米安保発効の日であり、沖縄戦敗北の日である。第二次大戦―アジア侵略戦争に対し、「二度と侵略戦争をやらない」と誓った日だ。

戦後反戦闘争の転換点として、今日を起点に新たな決意をこめて反戦闘争の高揚をもちとるといふ一点に闘いの課題を凝縮し進撃したい。当面六・三〇関西新空港反対全国集会、七月国会闘争、八・六広島原水禁運動へと決起する。

われわれは新しく飛躍し生まれかわらなければならない。一人よがりやを止め本場に大衆の中に入り決起をうながしていく。この闘いを労働者階級の責務にかけて担っていかねばならない。

第二次大戦でも、「この程度なら」が積み重なって戦争に突進していった。同じテツを踏まないためにも、今日を原産点として位置付け、資本の側の危険なイデオロギーを暴きだし、粉砕しようではないか!

反戦共同委員会の闘いを全国に創りあげよう。